

社会人の学びに関する「場」「目的」による整理

資料1-2

学びの主な場	企業	民間教育訓練機関 業界団体	公共職業訓練機関	専門学校	大学・大学院	民間教育機関 (カルチャーセンター等)	公的社会教育施設 (公民館・生涯学習センター等)	自学自習
学びの主な目的				社会人受講者数 ★正規課程 約7万2,700人 ★短期プログラム 約4万7,200人	社会人受講者数 ★正規課程 大学: 約17万1,000人 短大: 約9,500人 大学院: 約6万3,000人 ★短期プログラム 約6万8,000人			
趣味・教養を深める					大学における 公開講座受講者数 約140万4,500人		社会教育施設における 学級・講座受講者数 約2,970万4,900人	
地域課題や社会問題の解決に向けて学びを深める				行った生涯学習の形式 約17%が大学、大学院、専門学校で生涯学習をしたことがあると回答 (平成27年度内閣府教育・生涯学習に関する世論調査)		約30%が民間の講座や教室等で生涯学習をしたことがあると回答 (平成27年度内閣府教育・生涯学習に関する世論調査)	約40%が公的社会教育施設で生涯学習をしたことがあると回答 (平成27年度内閣府教育・生涯学習に関する世論調査)	約31%が自宅での学習活動により生涯学習をしたことがあると回答 (平成27年度内閣府教育・生涯学習に関する世論調査)
転職・昇進・スキルアップのために知識・技能を身に付ける	企業のOFF-JT OFF-JTの約75%が自社を活用(正社員)(平成27年度能力開発基本調査)	OFF-JTの約70%が民間教育訓練機関、業界団体を活用(正社員)(平成27年度能力開発基本調査)	OFF-JTの約5%が公共職業訓練機関を活用(正社員)(平成27年度能力開発基本調査) 公共職業訓練(在職者訓練)受講者数(平成26年度) 独法: 約5万1,800人 都道府県: 約5万1,100人	OFF-JTの約1%が専門学校等を活用(正社員)(平成27年度能力開発基本調査)	OFF-JTの約2%が大学・大学院等を活用(正社員)(平成27年度能力開発基本調査)			
		社員の自主的な職業能力開発(自己啓発) 自己啓発を行った正社員の約22%が民間教育訓練機関を活用(平成27年度能力開発基本調査)	自己啓発を行った正社員の約2%が公共職業能力開発施設を活用(平成27年度能力開発基本調査)	自己啓発を行った正社員の約2%が専門学校等を活用(平成27年度能力開発基本調査)	自己啓発を行った正社員の約1%が大学・大学院を活用(平成27年度能力開発基本調査)			自己啓発を行った正社員の約48%が自学自習を実施(平成27年度能力開発基本調査)
就職のために知識・技能を身に付ける		公共職業訓練(離職者訓練) 受講者数(平成26年度) 株立: 約5万6,000人 事業団体等: 約9,000人	受講者数(平成26年度) 独法: 約3万人 都道府県: 約1万100人	受講者数(平成26年度) 専門学校等: 約2万1,000人	受講者数(平成26年度) 大学等: 約1,000人			